



vol.5

TOKYO

高校からビーチバレーを始め、全国を制した経験のある黒川魁ら4名が講師を務めた。黒川は「私自身もトップ選手から指導を受けたことがある。参加した学生が一つでも技術や意識を吸収し、次に活かしてくれたら」とメッセージを送った。



AKTIO UNDERAGE BEACH VOLLEYBALL ACADEMY

vol.5~7
レポート



ビーチバレーボールに取り組む中・高校生を応援！ 「AKTIOアンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」開催

2022年8月からスタートし、2024年で3年目を迎えた「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」。今年にはさらに足を伸ばし、関西地方、東北地方へ進出した。各都道府県協会の協力のもと参加者を募り、各地で盛況ぶりを見せた。撮影/山田健司、依田裕章、平野敬久

vol.6

HYOGO

「試合で使える基本と戦術を知り、実戦で活かす」をテーマに掲げ、坂口由里香がメイン講師を務めた。国体入賞を機にビーチバレーを始めた立谷純太郎が初の講師に。「インドアとの違いを伝えながら、教える前と後で変化していたのがうれしかった」と感想を述べた。



3年目を迎えた「AKTIOアンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」は、年々進化を遂げている。

vol.5では初の一般公募を行い、オフシーズンにもかかわらず中高生男女29名の応募があった。栃木、千葉、埼玉、神奈川など関東各地から応募があり、エントリーした中学生からは「高校でもビーチバレーを続けたいのでアカデミーに参加したかった」という声もあった。

vol.6の南あわじステージの会場となったのは慶野松原海岸。日本の渚百選に選ばれている美しいビーチは、兵庫国体の開催をきっかけに環境が整っていった関西でも歴史のあるビーチでもある。現在日本代表の村上礼華、安達龍一の両トップ選手はこの地で練習を積み、世界へ羽ばたいていった代表格だ。

中学、高校、大学の全国大会でも上位進出を果たすなど、兵庫県内のビーチ熱も高い。それを証明することく、参加者は男女83名にのぼった。

vol.7の宮城・七ヶ浜ステージでは、8月の全国選手権大会を控え、北は青森、岩手、秋田など東北の県代表チームが参加した。青森県代表の選手は、「講師がとても有名な方ばかりでとてもうれしかった。練習も専門的だったので自分たちの練習に取り入れたいことがたくさんあった」と収穫を語っていた。

また初めて講師を務めた伊藤桜は、宮城県大崎市で生まれ七ヶ浜でビーチバレーを始めたトップ選手。「初めての講師は、自分自身もとても勉強になった。私を育ててくれた関係者の方や後輩たちと一緒に学ぶことができ、有意義な時間を過ごせた」と感想を述べた。

ビーチバレーボールにかかわる人々を笑顔にさせる「AKTIOアンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」は、今後も全国各地で開催を予定している。

vol.7

MIYAGI

東北のビーチバレーのメッカである七ヶ浜。東日本大震災時、ビーチは津波にのまれ一時はビーチバレーの活動場所を失ったが、関係者の尽力によって復興を遂げた。近年、レベルが上がってきた東北各県から参加者が集結。中高生男女53名が参加した。



vol.7 — 2024.7.28
宮城県七ヶ浜町湊浜緑地公園



vol.6 — 2024.6.16
兵庫県南あわじ市慶野松原海岸



vol.5 — 2023.11.30
東京都立川市タチヒビーチ



イベントの写真や動画はこちらで更新中!!

aubva2022 AUBVA2022